

チェコ・プラハ現地原子力セミナー開催

JICC はチェコ産業貿易省(MPI)との共催で 2022 年 10 月 26 日にチェコ・プラハで現地セミナーを開催した。

【経緯/目的】:

チェコの原子力発電における基盤整備のための国際協力事業として、チェコ産業貿易省(MPI)の要望を受けてプラハ現地セミナー開催

【結果】:

- ① チェコ・プラハで現地セミナーは、在チェコ日本大使館 鈴木大使による開催挨拶の後、福島第一原子力発電所事故後の原子力発電所の安全性向上、事故耐性原子燃料をテーマに開催し、両国の専門家が講演を行った。昼食時には日本企業が関与している SMR である NuScale と BWRX-300 について、日本の関係企業が作成したビデオを映し好評を得た。
- ② チェコ側からは、原子力発電プロジェクトは長い時間を要する。ロシアのウクライナ侵攻を受け、エネルギーにおける原子力発電の重要性は高まっている。原子力発電は事故を起こさないことが重要であり、原子力発電の経験豊富な日本の協力関係を続けたい旨のメッセージが伝えられた。
- ③ プラハセミナーの後、チェコ原子力関係者の日本招聘についてチェコ産業貿易省 MPO と打合せた。今後チェコ側の意向を踏まえ前向きに進めることとした。



セミナー会場となったウクライナ国旗を掲げたチェコ産業貿易省

鈴木大使、MPO Ms. Iva Petrickova 課長



ディスカッションの場面



SMR のビデオプレゼンテーションに見入る参加者

在チェコ日本国大使館 HP(参考): https://www.cz.emb-japan.go.jp/cz/info_ambassador_activity.html

以上